

まらり 看護学生

2024年 **1011** 月号



02・03 看護の現場より — 廣瀬 なみさん(東神戸病院)

04・05 がんばれ! 1年目看護師

06 私が出会った患者さん — 有本 朱理さん(訪問看護ステーション別所)

07 ほっとStation

08 「奨学生交流会」報告

看護の現場より

看護学生のみなさんに、私たちが日々看護を実践している現場での奮闘ぶりや、看護に対する熱い思いをシリーズで紹介します。

退院支援のやりがいとは

東神戸病院 地域包括ケア病棟
廣瀬 なみさん



患者様と一緒に★

■ はじめに

みなさん初めまして。私は地域包括ケア病棟で働く3年目の看護師です。

2年目の12月から回復期リハビリテーション病棟から異動になって、早くも8か月が過ぎました。忙しい現場の中でも、目まぐるしく時間が過ぎていきますが、ようやく環境に慣れてきたところです。

■ 地域包括ケア病棟とは

地域包括ケア病棟とは、急性期の治療を終えて病状が安定しているものの、すぐの退院が難しい患者様や、何らかの理

由で一時的な入院を余儀なくされた患者様に対して、在宅復帰に向けた支援や準備を目的とした病棟です。

■ 地域包括ケア病棟でのやりがい

この病棟では退院支援を主にしています。退院支援をするにあたって、患者様や家族の方の思いを尊重したり、他職種とコミュニケーションを取ることが必要になります。最初は慣れない退院支援に苦労しました。何から始めたらいいのか、家族の方とどのようにコミュニケーションを取ったらいいのかわからず苦戦することも多かったです。ですが、先輩方が相談に乗ってくださったり、回数を重ねるうちに退院支援が徐々に楽しくなってくることも増えました。

自分の受け持ち患者様の情報をたくさん得ることで患者様に対する理解が深まることや、コミュニケーションを通じて患者様と信頼関係を作れた時にとてもやりがいを感じます。

回復期リハビリテーション病棟(入院期間3~5か月)に比べて、地域包括ケア病棟では入院期間は60日と期限が決まっていることから、患者様も変わりますし、その期間で退院支援を行わないといけないので、私にとってそのスピードに追いつくのはまだまだ大変です。しかし、スピードが速い分、もっと頑張ろうと火がつきます。

また、この病棟にはコロナの患者様も含め、様々な疾患の方がいたり、認知症の方や寝たきりの方、自立した方など幅広い層の患者様が入院しています。その分、勉強になることも多いのもやりがいの一つです。看護技術も一通り経験できるので、看護師としてのスキルアップにも繋がります。

日々の業務と退院支援を並行して行うのは大変です。しかし、大変な現場だからこそ、患者様が自分の名前を覚えてくださったり、「ありがとう」と言ってくださり退院する姿を見送るのはとてもやりがいを感じます。



■ おわりに

看護の現場は想像以上に大変なことも多く、時には心身ともに疲れてしまうこともあります。しかし、やりがいは多い仕事です。まだまだ3年目ですが、これからも日々学びながら精一杯頑張っていきたいです！

がんばれ!! 1年目看護師 ~入職して5か月!の巻~



入職して5か月が経過しました。

さて、今月は2名の新人看護師の近況や研修の様子をお届けします♪



尼崎医療生協病院
急性期病棟
だいくその ことえ
大工園 琴絵

看護師になろうと思ったきっかけ
幼い頃から看護師という職業に対して憧れがあったからです。社会人としてさまざまな経験を積む中で、看護師という職業が自分にとって特別であると再確認し、この道へ進みました。

趣味
美味しいパンを買い、カフェでコーヒーを楽しむ。自然が好きで元気な時にはバイクに乗って出かける。

ストレス解消法
ジムに通う



尼崎医療生協病院
急性期病棟
かわかみ ゆい
川上 優衣

看護師になろうと思ったきっかけ
自身の妊娠・出産を経験し、患者様へ寄り添う看護がしたい、少しでも患者様の役に立ちたいと思い看護師を目指しました。

趣味
旅行が大好きです。家族旅行や看護学生時代の友人との旅行を楽しみに頑張ってます。

ストレス解消法
よく食べてよく寝てよく笑う

5ヶ月が経ち、仕事や職場には慣れてきましたか？

大工園 職場には徐々に慣れてきました。先輩方もとても優しく、丁寧に指導して下さいます。分からないことがあれば聞ける環境で、困ったときにはいつでも相談できるので安心して働いています。

川上 まだまだ緊張してばかりですが、日々学び先輩方に支えてもらいながら患者様のところへ行けています。

7月中旬 遅出勤務スタート

日勤以外の勤務もはじまりましたね。どんな様子ですか？

大工園 遅出に入るには看護技術が必要と聞いていました。4月から技術の習得に励んでいたものの、不安でした。今では吸引や注入が出来るようになり、あの頃に比べると出来ることが増えたなど実感しています。

川上 日勤でも緊張なのに、遅出となるとまた緊張していました。業務をしっかり覚えて少しでも先輩の手助けができるようになりたいと思いながら日勤でコツコツ採血なども頑張りました。初めは遅出業務で夜勤の看護師のヘルプといっても何もできなかったのが悔しかったです。



毎月の研修はどんな雰囲気ですか？

大工園 多職種の方々と直接会って話し合い、意見を共有できる貴重な機会となっています。また研修を通じて保険のことなど新しい知識を学ぶことができ、業務に役立てることが出来ます。

川上 同期が1人で、いつも2人で日々頑張っています。先輩方からの講義なども一緒に受けられて、とてもいい学びになっています。最近同期がもう1人増えたので、仲良くなって一緒に頑張っていきたいです。



大工園さんのプリセプターよりコメント

バタバタと忙しい急性期病棟に入職してから日々過ぎていきますが、新しい処置、業務などに不安を抱えながらも一生懸命頑張ってくれています(^o^)。他職種の関わり合いが深い病棟などで、たくさんコミュニケーションや知識も増えていくと思います。分からないことがあれば何でも聞いて下さいね。一緒に解決して頑張っていきましょうね~(*^_^*)

森田 百恵



8月中旬 もう少しで夜勤がスタート

今の気持ちを教えてください！

大工園 どうしようもなく不安です。日々の業務でいっぱいいっぱいなのにさらに受け持ち人数も増えるし大丈夫なのかと思っています。

川上 不安ですが楽しみな気持ちもあります。看護学生時代の友人に夜勤の話の聞いたり、先輩に聞いたりしながら不安よりも頑張ろうと思えるように、日勤でわからないことは先輩に聞くようにしています。



川上さんのプリセプターよりコメント

入職して5か月。日々の部屋まわりで分からないことや、困ったときは相談してくれるので、安心してます。入院も1人で取れるようになり、特殊処置などいろいろな経験を積むことが出来ましたね。入院患者さんやその家族とコミュニケーションもしっかりとれており、私が知らないことまでいろんな情報を収集できています。夜勤が始まって育児と仕事で大変だと思いますが、一緒に頑張っていきましょう。 石川 祐希



夜勤を終えた二人の感想は次回号に掲載予定！楽しみに～！

8/9 毎月の集合研修

今回の卒1の学習会では何を学びましたか？

大工園 2年目の看護師の事例発表を聞きながら、これから同様の経験をすることがあると感じました。終末期や急性期の患者への接し方について学ぶことができ、今後の実践に役立つ貴重な知識となりました。エンゼルケアについても学びました。患者様が亡くなった後も、丁寧なケアが行われることを知り、その重要性を実感しました。特に亡くなった方に対しては、尊厳を持って接し、心温まる配慮がなされていることを理解しました。

川上 エンゼルケアの学習会の後すぐに実際に患者様のエンゼルケアをさせていただきました。研修で先輩に「エンゼルケアが当たったらその患者さんは私のことを選んでくれたんだって思うといいよ」と教えてもらいました。実際のエンゼルケアでは家族様の言葉や表情で、私まで涙が溢れそうになりました。貴重な体験をさせていただいて、『私を選んでくれてありがとう』という気持ちになりました。



私の出会った患者さん



訪問看護ステーション
別所

有本 朱理さん



【患者さん紹介】

A氏/70代女性/盲腸癌の末期
2023年12月治療終了し、緩和ケアへ移行。訪問開始。キーパーソンは同居の次女（明るく几帳面な性格で、言われたことはメモにとる）、近所に長女、三女も住んでいる。関係は良好。



これまでの経過

2024年1月下旬より咳嗽や喘鳴、時折夜間の呼吸困難感あり体動後SpO2:85~94%となり、医師の指示にて呼吸困難を改善するβ2受容体作動薬を貼付、バルン挿入、がんの鎮痛薬を内服開始。体動後の眩暈や嘔気あるため本人のタイミングに合わせて清潔ケア実施。がんの鎮痛薬は倦怠感、呼吸苦がある際に使用していた。夜間は抗不安薬も内服し入眠していた。

A氏との関わり

4月は痛み止めのレスキューを使用することもなく、食事摂取出来ており状態は安定していました。そのため訪問入浴の提案を再度してみました。これまで恥ずかしさがあったA氏に対し、体調が安定している今しかないと考え根気強く促したところ、気持ちも前向きになり、女性スタッフだけなら…と、5月には訪問入浴を利用することが出来ました。A氏もとても喜んでくれて、6月中旬まで毎週利用していただきました。

6月中旬に入り、A氏の食欲が低下してきました。これまで、医師から消化の良い食事を摂るように言われていたが、次女の料理や好きなものを食べることができ、食欲も良好でした。しかし、徐々におかゆやゼリー、果物などが摂取することができなくなってきました。声をかけると目は開けるけれど傾眠傾向で、体幹の浮腫も増強傾向にあり、医師の指示で内服薬が中止となりました。

7月に入ると全身状態が悪化していきました。次女に「看取りをされる方へ」の冊子をお渡しして説明すると涙を流されました。その時に、次女が抱えている大きな不安や直接長女に言えない思いなどをお聞きし、その内容をかみ砕きながら長女へお話ししました。その後A氏のいないところで次女、長女とお話をすることができました。

次女の気持ち: もともと私は人やペットの死に強い不安があり、2年程度介護をしてきてやりきった思いはあるが、夜中に何度も呼吸をしているかを確認することで気持ち的

にしんどくなる。本当は在宅看取り希望ではなかった。しかし今までは長女も三女も時々来る程度だったが、今はたくさん来てくれるようになって本人も嬉しいと思う。

長女の気持ち: 時々有休を取りながら介護協力はしていた。ただ、次女の几帳面な性格やこれまで次女が介護を主にしてきたということから少し気を遣いながら手伝っていた。次女に負担がかかっていることはわかっているが悩んでいた様子。

姉妹の気持ちを傾聴しながら寄り添い、主治医と連携を取りました。姉妹で話し合いをしたことで、長女も吸引指導など協力してくれるようになりました。

そして一週間が過ぎたころ、三姉妹に見守られながら在宅で看取ることができました。私も立ち会うことができ、一緒に三姉妹とともにエンゼルケアをすることができました。

振り返り

私は、A氏とは訪問看護介入時から関わり、ケアや処置の際も明るい性格の次女とA氏と会話をしながら看護を行うことができていました。しかしA氏や次女の心境まで聞いていなかったところを同じ訪問看護のスタッフが聴いてくれて方向性を確認したことで、A氏を在宅で看取ることができました。また、私の中では創部治療は難しいと考えていましたが、治療をしながら好きなものを食べて栄養を摂ることで治療したことに驚きました。

A氏との関わりからターミナル期の利用者やその家族への関わりを学ぶことができました。ご家族の想いは日々変わるため、どのような看取りをしていきたいのかを確認することも大切であると学びました。入社して間もない時でしたが、スタッフと協力しながらチームとして関わり自分が成長できたと思いました。

学生みなさんも、患者さんやご家族に寄り添える素敵な看護師を目指して頑張ってくださいね!! 応援しています!!

読者の声

みなさんの
お待ちを
いたします。

1年目はどきどき
だったのですが、今はだいぶ慣
れて元気に働いて
います。

初夜勤の体験を知
ることができてよかったです。
(専門学生・うどん)

この夏、初めてのウェールズに
留学します!(マオ)

そうなんですね。がんば
ってくださいね。

いいですね!夏休
み楽しかったです
か?新人もベテラ
ンもしっかり夏休
みをとって楽しみ
ましたよ!夜勤は
一人ではないので
意外と楽しいです
よー。

今は夏休みを満喫しています!
「ナースのおすすめ」のディズ
ニーの劇団四季での★リフレッ
シュ★ステキです♡夜勤を想像
すると不安でいっぱいですが、先
輩看護師の夜勤エピソードを
読んで少し安心しました!
(大学生・にこ)

9日に実習があるため、
緊張しています。
(大学生・みに)

新しいことの
一歩は緊張します
よね。教科書以
外のことが学べ
る事楽しんでく
ださい。

看護の現場について知る
ことができて良かったです。
好きなことも両立できる看
護師の先輩の姿に憧れま
す。(大学生・ねこ)

ありがとうご
ざいます。あな
たも必ずなれ
ますよー。



8つの まちがい

【問題】上の絵と下の絵では8つの
まちがいがあります!どこでしょう?



同封の返信ハガキに答えを書いて応募し
てください。応募いただいた正解者に抽選
で図書カードをプレゼント!11月11日(月)
必着。当選
の発表は賞
品の発送を
もってかえ
させていただきます。

←前回のまち
がいがし
の答え

編集 後記

今年は9月も残暑がきつかったですねー。それにしても投稿してくださった学生の皆さんに、改めて感謝です。コメントを頂くと作っている私たちも元気を頂けますし、新人の励みにもなります。学生さんたちのこれからの不安を少しでも減らすお手伝いできたならうれしいです。また、どんな記事がいいかなど投稿してくれたらさらにうれしいです。(Y)

— 6月の奨学生交流会 —

♪ 学んで交流♪

未来に残したい、明日をつむぐキラッと看護

「コロナ患者の困難事例より～患者とともにたたかう看護について振り返る～」

講師：井上 朋美（神戸協同病院 副総師長・地域包括ケア病棟師長）

学習会後、それぞれのグループでも看護師からいくつかの事例を聞き、民医連が大事にしている看護ってどんなことだろう？と深掘りしました。そして、グループで「民医連看護」のキャッチコピーを考えて発表しました☆

キャッチコピー

患者さんの思いを尊重し、多職種で寄り添う看護



キャッチコピー

「助きたい!!」の思いから出発する、その人らしい生活を多方面から支える看護



患者さんがその人らしく過ごせるようにサポートする方法はたくさんあり、連携することの大切さを学ぶことができました。

患者さんの状態に合わせた関わり方や看護の仕方を学びました。最後まで諦めず、他職種や地域と連携してサポートすることが重要だと感じました。

今回の事例では、患者の要望と医療者としての思いをどうやって折り合いをつけるのか、食事量を増やしたり、病院が用意した間食を摂ってもらうことで、患者と医療者の思いの調整を行っていて、こういった調整の仕方もあるのだと知りました。

個別性の大切さや、継続した看護のあり方など、いろいろと学ぶことができました。

後半の交流企画では、グループ対抗クイズ「イントロどん♪」を行いました! 「汗かくくらい楽しみました!」「他の学校の人と交流することができとても楽しい時間でした」「初めて会った人がほとんどだったけどゲームのおかげで一致団結して盛り上がってよかったです」など、とっても白熱&大盛り上がりの交流企画でした☆学生さんと同じくらい看護師も楽しみました(笑)



あなたも奨学生になりませんか？

尼崎医療生協病院・東神戸病院・神戸協同病院・共立病院で奨学生を募集しています!

